

NI+C サブライセンス プログラム・パッケージ

「サブキャパシティー・ライセンスに関する特則」



本特則は日本情報通信株式会社(以下「NI+C」といいます)がサブライセンサーに対して「サブキャパシティー・ライセンス」を使用許諾した場合に適用されます。本特則は「NI+C サブライセンス プログラム・パッケージのご使用条件」(以下「ご使用条件」といいます)に追加して適用されるものとし、ご使用条件と本特則に矛盾が生じた場合は、本特則の定めが優先して適用されます。

1. 定義

- (1)「対象プロセッサ・テクノロジー」とは、
<http://www.ibm.com/software/lotus/passportadvantage/subcaplicensing.html>に記載されている「サブキャパシティー・ライセンス」を適用することが可能なプロセッサ・テクノロジーをいいます。
- (2)「対象オペレーティング・システム・テクノロジー」とは、
<http://www.ibm.com/software/lotus/passportadvantage/subcaplicensing.html>に記載されている「サブキャパシティー・ライセンス」を適用することが可能なオペレーティング・システムをいいます。
- (3)「プロセッサ・コア」とは、コンピューティング装置に搭載された物理的機能単位のうち、少なくとも一つの命令制御装置および一つまたは複数の論理演算装置で構成され、プログラム命令を解釈および実行するものをいいます。マルチコア・テクノロジーでは、単一の「プロセッサ・チップ」に複数の「プロセッサ・コア」を実装することが可能です。
- (4)「プロセッサ・ソケット」とは、プロセッサ・チップを搭載する電子回路をいいます。
- (5)「プロセッサ・チップ」とは、プロセッサ・ソケットに差し込まれる、1つまたは複数のプロセッサ・コアが搭載された電子回路をいいます。
- (6)「プロセッサ・バリュー・ユニット」(以下、「PVU」といいます。)とは、「プロセッサ・コア」に処理能力に応じた値を割り当てる NI+C の課金単位をいいます。「プロセッサ・バリュー・ユニット」ライセンスモデルは、
http://www.ibm.com/software/lotus/passportadvantage/pvu_licensing_for_customers.htmlで説明されます。
- (7)「フルキャパシティー」とは、サーバー上で、活動化され使用可能な物理プロセッサ・コアの総数をいいます。
- (8)「対象仮想化テクノロジー」とは、
<http://www.ibm.com/software/lotus/passportadvantage/subcaplicensing.html>に記載されている「サブキャパシティー・ライセンス」を適用することが可能な仮想化テクノロジーをいいます。「対象仮想化テクノロジー」は、プロセッサ能力を、物理キャパシティー全体のサブセット(区画、LPAR、または仮想マシンともいいます。)に制限することが可能です。
- (9)「対象仮想化環境」とは、「対象プロセッサ・テクノロジー」、「対象オペレーティング・システム・テクノロジー」および「対象仮想化テクノロジー」が含まれる、単一コンピューティング環境として稼働するサーバーまたはサーバー群をいいます。
- (10)「仮想化キャパシティー」とは、「対象仮想化環境」に「対象サブキャパシティー製品」を導入した際に、その製品に割り当てられている最大のプロセッサ・キャパシティーをいいます。各「対象仮想化環境」の「仮想化キャパシティー」の計算方法は、